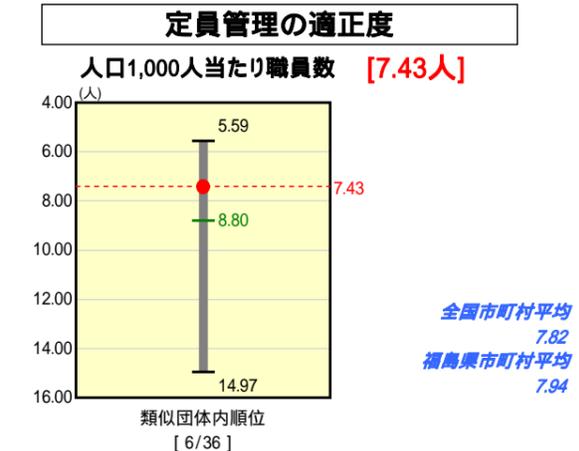
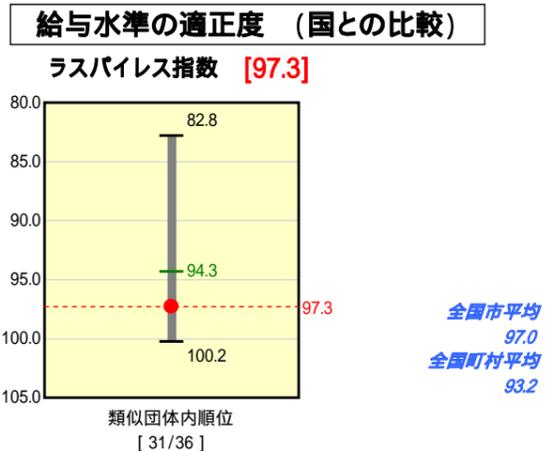
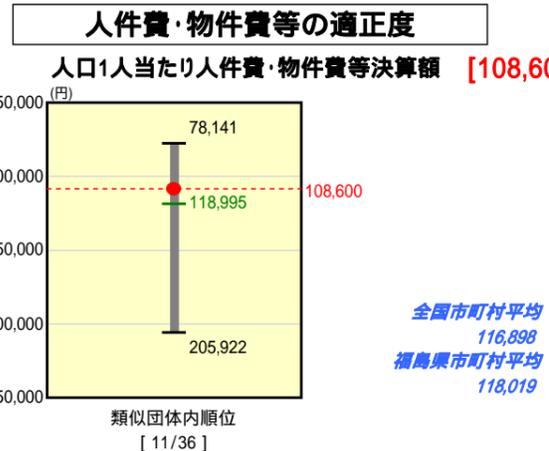
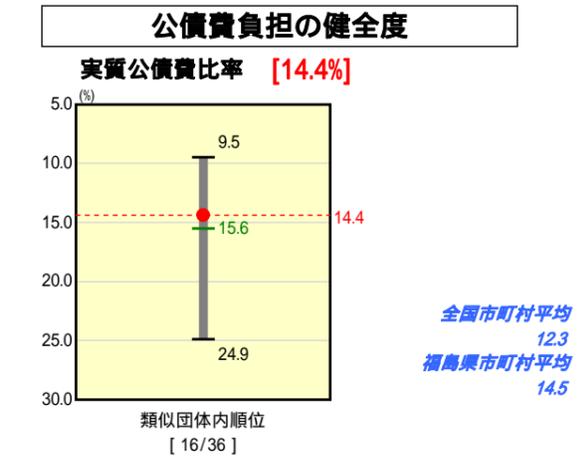
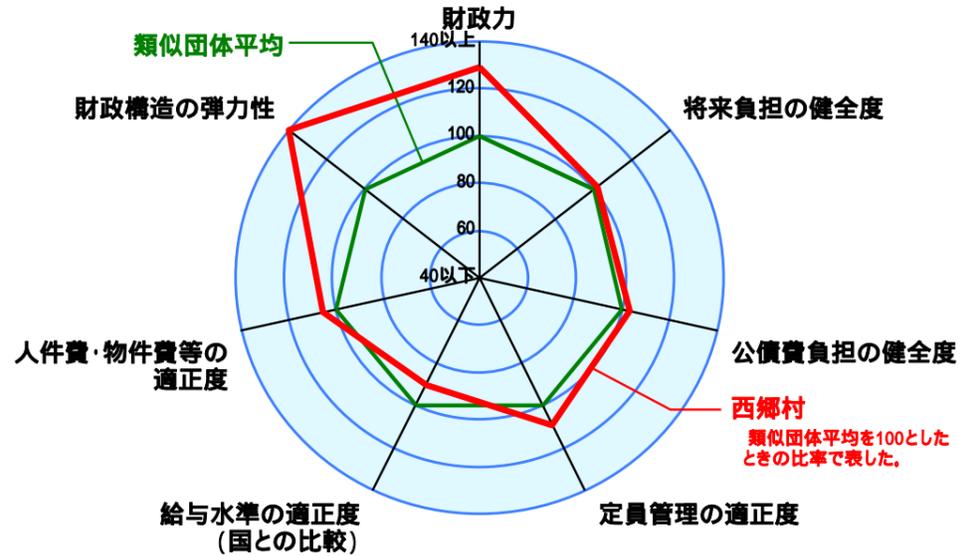
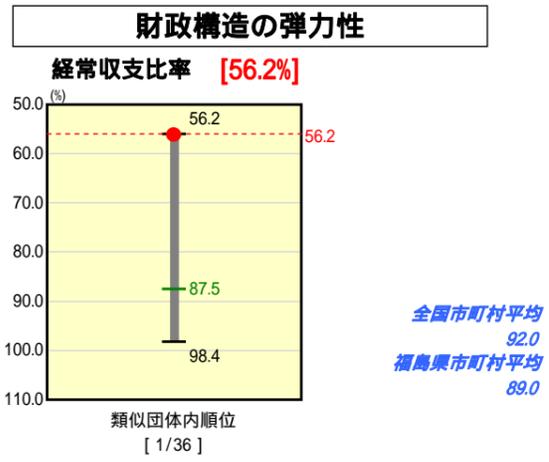
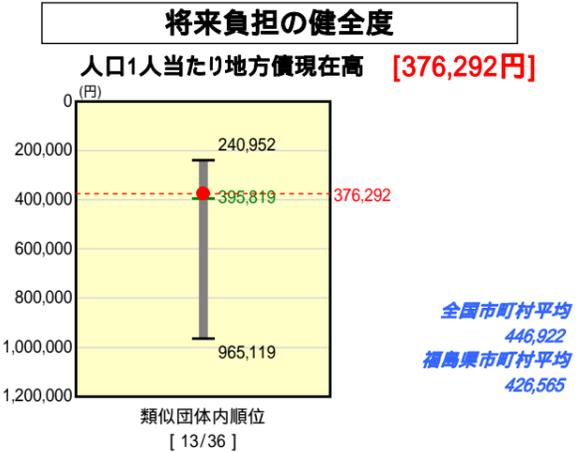
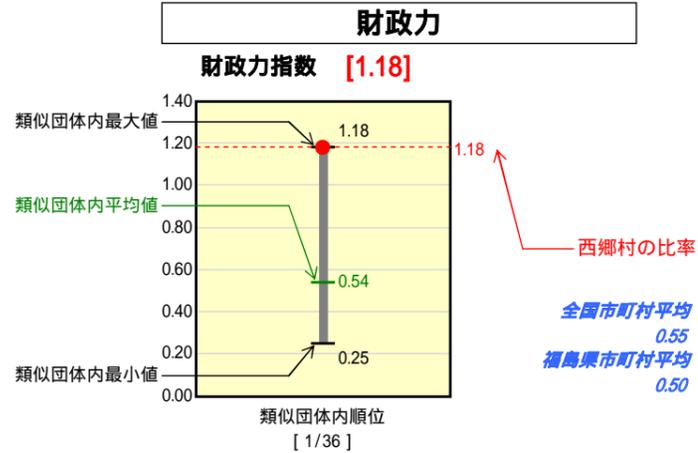


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福島県 西郷村

人口	19,646	人(H20.3.31現在)
面積	192.32	km ²
歳入総額	9,365,753	千円
歳出総額	9,161,497	千円
実質収支	195,571	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
ラスバイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。

人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数:
村内立地企業の良好な業績を反映し法人税が対前年度比78%の増、固定資産税(償却資産)については高水準であった前年度実績並みの税収があったため、財政力指数が1.18となった。税目別にみると前年度と同様、景気動向に左右されやすい法人税や企業の一時的な設備投資に係る償却資産によるところが多いため、今後も徴税の強化等、安定的な税収の確保に努める。

経常収支比率:
歳入のうち、村税の占める割合が高いため、類似団体平均を大きく上回っている。ISO14001環境マネジメントプログラムに沿って需用費の削減を、集中改革プランにより経常経費の削減を図る。

実質公債費比率:
経常収支比率と同様、歳入のうち村税の占める割合が高いため類似団体平均をやや下回っている。今後については、財政状況をみながら繰上償還の実施、財政計画(投資重点事業)等での大型事業の適切な取捨選択をしていくなど、実質公債費比率の急激な上昇を抑えていく。

人口1人当たり地方債現在高:
類似団体平均をやや下回っている。今後予定している大型事業の実施に際し計画的に積み立ててきた基金を活用するなど、新規発行債の抑制を図る。

ラスバイレス指数:
経験年数3~5年、7~10年、10~15年、15~20年(大卒)、30~35年(高卒)の階層で、指数を0.8ポイント上昇させている。昇格運用基準等の見直しにより指数の上昇を抑えていく。

人口1,000人当たり職員数:
類似団体平均をやや下回っているが、集中改革プランでは事務事業の整理合理化等(14項目)により、平成17年~平成22年で退職者の7割補充を基本に、13人、7.3%の削減を図ることを目標としている。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:
類似団体平均をやや下回っているのは主に人件費を要因としており、職員数の減(3人)によるところが大きい。今後についても集中改革プランに沿った経常経費の削減を行っていく。